

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">新編 新しい 書写</p> <p style="text-align: right;">2 東 書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p>○1, 2年の硬筆は、字形や筆順を、外形、数字、矢印で視覚的に示している。3～6年の毛筆では、穂先の動きや点画のつながりを写真で見やすくわかりやすく示している。</p> <p>○古文、百人一首のなぞり書き、石碑の文字などを学年に応じて取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図っている。</p>
<p>特 色</p>	<p>内 容</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt; ○学年に応じて、字を書く姿勢や筆の持ち方など、基礎的な内容を写真で大きく示している。 ○筆順がわかりやすく示されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt; ○単元の初めに「調べよう」があり、課題が明確に示されている。また、キャラクターの吹き出しを課題解決の手がかりとしている。 ○3年以上の単元の「たしかめよう」では、大切な部分を朱書きで示した。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt; ○単元ごとの学習の振り返りが、1, 2年生ではシールを貼ったり、3年生以上では、○△自己評価ができるようになっている。 ○3年以上では単元ごとに「調べよう」「たしかめよう」「広げよう」の印をつけて、学習の流れを明確にしている。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt; ○横書きのノートや手紙、新聞の書き方が具体的に示され、他教科とつながっている。 ○「書いて味わおう」というはうたや俳句、百人一首など発達の段階に応じて馴染めるようななぞり書きをする教材を設けている。</p> <p>資 料</p> <p>○姿勢や用具の持ち方扱い方を、児童に写真でわかりやすく掲載している。 ○「書いて味わおう」という伝統的な言語文化に触れる教材が資料にある。</p> <p>表記・表現</p> <p>○目次の下に、その時間に学習するポイントを示している。また、ネコのキャラクターを用い、書写学習の道案内をしている。 ○毛筆の点画を書くポイントや姿勢が、擬音語により児童にわかりやすい。</p>
<p>総 括</p>	<p>○1, 2年生にはシールが付いており、自己評価や学習したポイントなどに活用でき、児童の意欲化が図れる。 ○3年生以上は、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」「生活に広げよう」の4段階の学習の手引きを設け、主体的に学習が進められるよう意図している。</p>

書名		11 学 図
項目	みんなと学ぶ 小学校書写	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○1, 2年では、「姿勢」「筆記具の持ち方」を巻頭の見開きで示している。5, 6年では、「筆記具の選び方」や「目的に応じた書き方」を掲載し、書写の学習を日常生活に生かせるようにしている。</p> <p>○書き初めや、平仮名のでき方、行書などを学年に応じて取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図るとともに、書写への関心を高めている。</p>	
特 色	内 容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○新出文字にすべて筆順が示され、点画の特徴を強調して示してある。</p> <p>○毛筆の穂先の通り道に朱墨を用いたり、筆の流れを矢印で示している。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○各学年に応じ、キャラクターの吹き出しを使って、学習のポイントを説明している。</p> <p>○自分の課題解決に向かって、練習方法を工夫する活動を設けたり、学習の内容を振り返るページを示したりしている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○めあてを意識させて自己評価ができるように、「学習を振り返ろう」の欄を示している。</p> <p>○見通しをもって学習できるように、1・2年では「しょしゃのがくしゅうのしかた」、3年以上では「毛筆学習の進め方」を示している。</p> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <p>○「硬筆に生かそう」では、俳句、短歌など、他教科や日常生活の中で活用できるような具体例がある。</p> <p>○6年の発展ページでは、中学校で習う「行書」の特徴を示している。</p>
	資 料	<p>○巻頭の折込に写真と解説をつけて掲載しており、1, 2年生は書く準備を歌にして、イラストとともに示している。</p> <p>○毛筆教材では、半紙原寸大の手本があり、授業に生かしやすい。</p>
	表 記・表 現	<p>○おじさん、ネコなどのキャラクターの吹き出しで、学習のポイントをわかりやすく示している。</p> <p>○毛筆の筆使いを、連続写真を用いて手本に掲載している。</p>
総 括	<p>○1, 2年生は、自己評価にシールを用い、意欲化を図っている。</p> <p>○新出漢字が、ページの下に見やすく掲載してある。特に1, 2年生は、書き順が色を変えて示してあり、わかりやすい。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名 <b>小学生の書写</b></p> <p style="text-align: right;">15 三省堂</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○全学年で、硬筆で学習したことを習熟させるスペースを多くとっている。 ○全学年で、手紙やはがきの書き方を取り扱い、日常生活に生かしている。 また、全学年で書き初めを取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図って いる。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt; ○硬筆で学習したことを、直接書き込めるマスや行、枠に練習できるよう になっている。 ○3・4年生では2色の淡墨図を用いて、穂先の向きや通り道をわかりや すいように示している。 &lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt; ○筆の向きを時計の方向で示し、視覚的にとらえやすくなっている。 ○単元の導入では「考えよう」で比較させ、考える活動を示している。  &lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt; ○学習を振り返って、自己評価の欄に印をつけるようになっている。 ○5・6年では「考えよう」→「書いて確かめよう」→「確かめ合おう」 と学習の仕みが統一されて学習できるように設定している。 &lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt; ○毛筆用具の紹介や、古来から伝わる書物の紹介など、書写に興味や関心 がもてるようになっている。 ○発展として、6年では中学校で学習する「行書」を取り上げ、「楷書」 の良さと「行書」の良さを紹介している。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○巻頭の折込にイラストと言葉で、姿勢、用具の持ち方・扱い方を示して いる。 ○巻末に、前学年と現学年で習う漢字を掲載し、国語学習に役立てている。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○手本の前ページに、気をつけて書くポイントが示してある。 ○1, 2年生の書き方のポイントは、練習するスペースが大きく多くとっ てある。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各学年の単元の終わりに、「学習を生かそう」「ひろげよう」を設定し、 実生活や他教科に関連させている。 ○5・6年では、目次に「学習の仕組み」として「考えよう」「書いて確 かめよう」「主筆で確かめよう」「確かめ合おう」を掲載し、主体的に学べ るようになっている。</p>	

項目		書名  小学 書写	17 教出
	教育基本法、学校教育法の下の小学校教育指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○全学年で「横書きの書き方」を扱い、「算数で生かす」「理科で生かす」などの項目を設定し、目的に合わせた書き方を学べるようにしている。</p> <p>○短歌や俳句、古典などの発展教材や資料を学年に応じて掲載し、伝統的な言語文化との関連を図るとともに、書写への関心を高めている。</p>	
特色	内容	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <p>○写真や絵を使って、書く姿勢や鉛筆の持ち方を示している。箸などの持ち方から、鉛筆の正しい持ち方につなげている。</p> <p>○学習した内容を系統的かつ繰り返し学べるように、点画の種類や「前学年のまとめ」、「学年のまとめ」を設けている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <p>○既習の関連ページを示して、ふり返りの学習ができるようにしている。</p> <p>○単元の目標が達成できるように、「ここが大切」では、ポイントを朱書きにしたり、枠で囲んだりしている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <p>○各教材ごとに、自己評価欄を設け、めあてを振り返ることができる。</p> <p>○導入から振り返りまで見通しをもって学習できるように、3年以上では巻頭に「学習の進め方」を示している。</p> <p>＜国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫＞</p> <p>○毛筆学習が硬筆に生かされるように、ためし書き、まとめ書きの欄を設けて、学習の定着を図っている。</p> <p>○「しりたい文字のせかい」などで、文字の世界に親しみがもてるようになっている。</p>	
	資料	<p>○姿勢や用具の持ち方や扱いを、巻頭のページや綴じ込みのページに、写真や言葉で掲載している。また、裏表紙にもまとめられている。</p> <p>○前学年、現学年で習う漢字を、50音順に色分けして、巻末の折込に掲載し、書き順や字形などをいつでも確認できるようにしている。</p>	
	表記・表現	<p>○ポイントになる部分を色分けし、視覚的にわかりやすく示している。</p> <p>○キャラクターが大切なポイントを吹き出しの形で解説している。</p>	
	総括	<p>○文字への興味・関心を高められるように、「知りたい文字の世界」で文字に関する様々な情報を示し、学習したことを日常生活や他の教科・領域に生かせるように「トライあんどチャレンジ」の教材で示している。</p> <p>○学習課題がはっきり示されており、自己評価欄ともリンクし、見やすく構成されている。</p>	

書名		38 光村
項目	書写	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○書写学習の基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように、ねらいを確 かめ、毛筆教材と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定している。</p> <p>○全学年「資料」のページで、日常生活や学習に役立つ内容を設けている。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</p> <p>○写真と絵を使って、書く姿勢や鉛筆の持ち方をわかりやすく示している。</p> <p>○3年以上の毛筆教材では、筆の動きが分かりやすいように、2色の濃淡 図を用いて示している。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○キャラクターの吹き出しで、筆使いのポイントを見直したり、より上手 に書くための視点を与えている。</p> <p>○整った文字と整わない文字を比較して学習できる導入を行っている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○各教材ごとに自己評価欄があり、ポイントを絞った評価ができるようにな っている。</p> <p>○4年以上では、見通しをもって取り組めるように、「学習の進め方」で 学習方法を示している。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○毛筆学習が硬筆に生かされるよう学習のまとめの欄が設けられている。</p> <p>○「もっと知りたい」のコーナーで、書写を日常生活に生かせる工夫がさ れている。</p>
	資 料	<p>○姿勢や用具の持ち方・扱い方を、いつでも見られるように、巻頭のペー ジや折込に大きめの写真や言葉で表している。</p> <p>○巻末資料で、前学年に習った漢字を掲載し、確認しやすくしている。現 学年については、毛筆でも掲載している。</p>
	表 記・表 現	<p>○低学年では、動物の挿絵の動きから、線の動きがわかりやすいように工 夫されている。</p> <p>○「たいせつ」のコーナーで、学習のポイントが確認しやすいようになって いる。</p>
総 括	<p>○巻末に資料をまとめて掲載して、日常生活においても活用できるように している。</p> <p>○「もっと知りたい」のコーナーで、日本の伝統の技について触れ、紙、 墨、硯などができる工程を示している。</p>	

<p>項目</p>	<p>書名</p> <p style="text-align: center;">小学書写</p> <p style="text-align: right;">116 日 文</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり</p>	<p>○巻頭に、各学年の「学年のめめて」を提示している。各教材で「考える」「確かめる」「生かす」「ふりかえる」の学習過程を示している。</p> <p>○3～6年では、硬筆教材として古典や行書、文学作品を扱い、伝統的な言語文化との関連を図るとともに書写への関心を高めている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p> <p>資 料</p> <p>表 記・表 現</p>	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○写真が大きく、書く姿勢や鉛筆の持ち方をわかりやすく示している。</p> <p>○擬態語（ぴた、ぴんなど）で、児童になじみやすい言葉や絵、キャラクターを使って説明している。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○各学年とも、「考える」のコーナーを設け、自問自答できるように作成されている。</p> <p>○4年以上は、めあてが達成できるように「ここがポイント」で手掛かりを示している。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各教材ごとに自己評価欄を設けめあてを振り返ることができるようになっている。</p> <p>○一年間を通して、鉛筆の持ち方や姿勢を意識できるものとなっている。</p> <p><b>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</b></p> <p>○「広がる学び」のコーナーで、文字を生活に生かす工夫がされている。</p> <p>○手紙や俳句、色紙の書き方を示し、各学年に応じた日常化がされている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○姿勢、点画の種類を巻頭に示し、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるようにしている。</p> <p>○「広がる学び」や「もっと書こう」では、学んだことを日常生活や他教科領域で生かせるようにしている。</p>